

# 平成24年度明誠舎サマーセミナー

主催：社団法人心学明誠舎 共催：懐徳堂記念会、大阪府

最近、心学の教えが様々な分野で注目されてきました。日々起こる出来事に対してどのように考えればいいのか。弊舎として今年度も多角的な視点から『心学』に関連するセミナーを提供し、先人の知恵を学び、現代に活かし、次代に伝える活動を企画していきます。

皆様のご参加をお待ちしております。お申し込みは下記にご記入の上FAXまたはメールでお送りください。

回	開催日時	演 題 ・ 講 師
1	6月22日(金) 18:30~20:00 受付：18時~	<b>演題：石門心学と不生禅</b> <b>講師：山東 功氏 大阪府立大学教授</b>  内容：石門心学の著述を読んでいくと、臨済宗僧の盤珪永琢(1622~1693)が唱えた「不生」に関する言葉がよく出てきます。不生禅と呼ばれる盤珪の教えは、どのような形で石門心学の中に取り入れられたのか、またどのような理由で不生禅が評価されることになったのかについて、心学書の記述をもとに思想史的検討を試みたいと思います。 <b>講師略歴</b> ：大阪府立大学 21世紀科学研究機構教授、第4学群戦略的研究部門長、大学史編纂研究所所長 大阪女子大学専任講師を経て2011年より現職。財団法人堺市文化振興財団理事。博士(文学)。専攻は日本語学、日本思想史。著書に『明治前期日本文典の研究』2002(和泉書院)、『唱歌と国語 明治近代化の装置』2008(講談社)、『「大学」を学ぶ-大阪府大学史への誘い-2009(大阪公立大学共同出版会)、共著に『ブラジル日系・沖縄系移民社会における言語接触』2009(ひつじ書房)など。
2	7月19日(木) 18:30~20:00 受付：18時~	<b>演題：本居宣長における和歌(うた)の力-方法としての和歌</b> <b>講師：榎本 恵理氏 同志社大学嘱託講師</b>  内容：江戸時代、学問と言えば儒学でした。石田梅岩は、民衆レベルで学問の意味を突き詰め、中国古典漢文にもとづく儒学に対抗して、声で学問を語り初め、それを堵庵が発展させました。堵庵とほぼ同時代、国学の大成者・本居宣長も、梅岩と同じく漢文の学問に対抗的に思想を深め、中国とは異なる日本固有のあり方を突き詰めて考えました。漢字渡来以前の、声で語られた世界に「本来の日本」を見出し、とりわけ声で詠む和歌に人が人と深く繋がりあえる力を見出しました。文字よりも「和歌の力」を信じた宣長の思想を、石門心学を横に置いて考えてみたいと思います。 <b>講師略歴</b> ：日本女子大学文学部卒。その後、同志社大学大学院博士後期課程修了。博士(教育学)。専門は日本近世教育史、教育思想史。人は人といかにつながりあえるか、という問題意識を教育思想史的に研究。現在、同志社大学嘱託講師、大阪商業大学、プール学院大学等の非常勤講師。

記

会 場：丸紅ビル地下1階会議室 丸紅ビル西側通用口からお入りください。  
大阪府中央区本町2-5-7

定 員：先着100名(ご参加いただけない場合のみご連絡します。)

受講料：舎員は無料 一般500円

申込方法：Fax、E-mailにてお申込ください。e-mail：[meiseisha@ehle.ac.jp](mailto:meiseisha@ehle.ac.jp)

問 合 先：(社)心学明誠舎事務局(担当：山田)090-3276-8966

ご出席日を で囲んで ください	6月22日(金) 山東功氏	7月19日(木) 榎本恵理氏
お名前	TEL	
ご住所 〒		
法人会員の方は会社名		
E-mail		

### 丸紅ビル

大阪市中央区本町 2-5-7

御堂筋・中央線本町

3番出口から5分

堺筋本町線

17番出口から3分

丸紅ビル地下1階

ビル西側通用口からお入りください

当日連絡先

090-3276-8966 (山田)



社団法人心学明誠舎

<http://www.ehle.ac.jp/meiseisha/>